



時を紡いで400年 輝く未来へ由利本荘

2024年



令和6年3月1日発行  
第270号

# 伝承館だより

発行：由利本荘市出羽伝承館（大内公民館図書室併設）  
由利本荘市岩谷町字西越36番地（ぼぼろっこ隣）  
TEL：0184-62-0505 FAX：0184-62-0506  
E-mail：densyokan@city.yurihonjo.lg.jp

【開館時間】9:00～18:00（土日祝17:00まで）【図書利用】10冊まで／15日間（市内8館合計）

## 不明図書を探しています

2月に実施した図書の点検作業で、下記の2冊が所在不明であることがわかりました。この本にお心当たりのある方がいらっしゃいましたら、館内カウンター窓口または、正面入口に設置の「返却ボックス」へお届けくださいますよう、よろしくお願いいたします。



【絵本】

『うちのかぞく』

谷口 国博／文  
村上 康成／絵



【絵本】

『きょうりゅうのずかん』

五十嵐 美和子／文

## 「由利本荘ひな街道」開催中！

市内各地域の資料館・美術館合同企画展『春を呼ぶおひな様』を開催中です。出羽伝承館では、素朴で愛らしい八橋土人形をメインに、古今雛、芥子雛、現代雛、つるし飾りなどを賑やかに展示しています。ぜひご覧ください。



期間：～4月3日(水)まで

会場：本荘郷土資料館、修身館、矢島郷土資料館、  
亀田城佐藤八十八美術館、出羽伝承館



えほんの読み聞かせ

## おはなしのへや

日時：3月3日(日)

午後2:00～

会場：伝承館 児童コーナー

出演：すずめの巣



あそびにきてね♪

## 新聞・雑誌 購入終了のお知らせ

都合により、下記の新聞・雑誌の購入を、3月いっぱいまで終了とさせていただきます。ご理解くださいますようお願いいたします。

※新聞は他館でご覧いただけるものもあります。

※雑誌は他館から取り寄せ可能です。ご利用ください。

- ・朝日新聞（中央・岩城で閲覧可能）
- ・日刊スポーツ
- ・きょうの料理（中央・由利・岩城で所蔵）
- ・きょうの健康（中央・由利で所蔵）



3月のカレンダー							休館日	おはなしのへや	移動文庫（出張所）
日	月	火	水	木	金	土			
					①	2			
3	4	5	6	7	8	9			
10	11	12	13	14	15	16			
17	18	19	20	21	22	23			
24	25	26	27	28	29	30			
31									





# 新着図書案内



## 【一般書】

ここでご紹介する本は、発行年が古いものや、市内の他館で所蔵している本であっても“伝承館で新たに受け入れた本”としてご紹介しています。

書名	編著者
変な家(2) 11の間取り図	雨穴
シャーロック・ホームズの凱旋	森見 登美彦
マグマ	真山 仁
女盛りはモヤモヤ盛り	内館 牧子

書名	編著者
また読んで欲しくなる読み聞かせ	北島 多江子
JA全農広報部さんが集めた みんなのおいしい食べ方帖	JA全農広報部
超倍速 よりぬき お母さんの扉 《オレンジページ付録》	伊藤 理佐
ふる里は語る ～由利町屋敷史	由利町屋敷部落史編集委員会

## 【第170回芥川賞】 東京都同情塔／九段 理江



寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求する。生成AI時代の預言の書。

## 猫がいれば、そこが我が家／ヤマザキ マリ



イタリア、シリア、ポルトガル、アメリカ…世界を“移動”する漫画家が、自身や家族のエピソードを交えながら綴る、愛猫ベレン、そして歴代の猫たち。NHKの人気番組「ネコメンタリー 猫も、杓子も。」番外編。著者初の猫エッセイ!

## 【第170回直木賞】 ともぐい／河崎 秋子



明治後期、人里離れた山中で犬を相棒にひとり狩猟をして生きていた熊爪は、ある日、血痕を辿った先で負傷した男を見つける。男は、冬眠していない熊「穴持たず」を追っていたと言うが…。人と獣の業と悲哀を織り交ぜた、理屈なき命の応酬の果ては一令和の熊文学の最高到達点!!

## 算数・数学の面白小話／岡澤 宏



白鳥が12羽並ぶのはいつ? うるう年はなぜあるの? 分数の線の意味は? 小学校1年生の算数から、中学校3年生の数学まで授業経験がある先生ならではの、愉快的面白小話を紹介。楽しい授業づくりのヒントとなる一冊。

## 【第170回直木賞】 八月の御所グラウンド／万城目 学



女子全国高校駅伝一都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。謎の草野球大会一借金のカタに、早朝の御所Gでたまひで杯に参加する羽目になった大学生。京都が生んだ、やさしい奇跡…。人生の愛しくほろ苦い味わいを綴る傑作2篇を収録。

## 図解まるわかり電池のしくみ／中村 のぶ子



一次電池から二次電池、スマホやノートPCに欠かせないリチウムイオン電池、期待が高まるクリーンエネルギーである燃料電池や太陽電池など、色々な電池のしくみが幅広く学べる1冊。初学者の方にも学び直しをしたい方にもおすすめ。

## 【第22回「このミステリーがすごい!」大賞】 ファラオの密室／白川 尚史



紀元前1300年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができない。欠けた心臓を取り戻すために地上に舞い戻り、自分が死んだ事件の捜査を進めるが…。

## 自分で地域で手づくり防災／農山漁村文化協会



「手づくり防災術」とは、自給の力や地域の力で自然災害に備える工夫のこと。ミニ太陽光発電、ポリ袋調理、田んぼダム、手づくり防災マップなど、自分たちでできる工夫を多数収録。人任せにしない防災・減災の実践集。

## ブレイク／真山 仁



若手議員の仁科良一は、地熱発電の普及に燃えていた。そんな中、仁科が推進していた大規模地熱発電所の開発が凍結。その裏には巨大なエネルギー利権をめぐる策謀があり…。エネルギー問題が最も注目される今、“予言の書”と言われた名作『マグマ』の正統なる後継作がついに登場!

## 秋田怪談／鶴乃 大助 ほか



秋田県に所縁のある怪談作家らが秋田の各地を巡り、土地の人々から聞き集めた秋田の怪異奇譚集。海に近い国道沿いの高校の『学校奇談』、通夜の日の『びんぼんおばけたち』など、由利本荘市の話も含めた、秋田県の本場にあった怖い話34話を収録。奇々怪々な秋田がここにある一。

## 話す力／阿川 佐和子



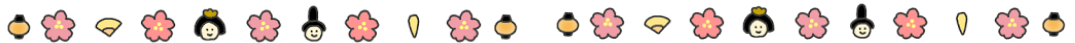
初対面の相手との会話から、認知症の親の介護や家庭円満の秘訣、会議や会食まで。インタビューを30年以上続けているアガワが、日本人だからこその会話の妙や楽しみ方を、エピソードとともに伝授する。アガワ流「話す極意」。

## 考え方ひとつで人生が変わる／畑山 敏也<東由利出身>



考え方ひとつで目の前の景色が変わる、一歩足を踏み出すと展開が変わる、「どんな人間でありたいか」を自分に問いながら前に進む、いくつになっても自分に挑戦…。(株)協和の会長が、長年かけて綴った人生を変える考え方のヒント。

## 【絵本・紙芝居】



## あたしは本をよまない／コウタリ リン・ちば みなこ



【第39回 日産童話と絵本のグランプリ 童話大賞】  
本を読むのが好きじゃないユイ。難しい哲学の本も読む転校生の木田君。いつもひとりで静かにいる“点”みたいなユイと木田君に、教室で一番うるさい草野君が加わるようになり…。

## 君たちはどう生きるか／宮崎 駿



火事で母を失った11歳の少年・真人は、なぞの青サギに導かれ、別世界に足をふみ入れた。そこは、死が終わり、生が始まる、ふしぎな場所。宮崎駿監督が、記憶に残るかつての日本を舞台に描いた、渾身のファンタジーアニメの絵本。

## なんかひとりおおくない?／うめはら まんな



【第39回 日産童話と絵本のグランプリ 絵本大賞】  
じいちゃんち、大きな茅葺屋根の家。今年の夏休みも、いとこたちが集まって、みんなでお泊りだ! 楽しい夏休みの間の、不思議な出会いを描いた銅版画絵本。

## きみのそばにいるよ／いぬい さえこ



この森には、小さくてふわふわの動物がたくさんくらしています。夜になると誰かに会いたくなって…今日もお月さまの下で、おしゃべりが始まります。つらいとき、心細いとき、そっと寄り添ってくれるメッセージ絵本。月の満ち欠けも楽しめます。

## ようかいむらのどきどきひなまつり／たかい よしかず



今日は、ようかいむらのひなまつり。かべっちといなりんが、なにやら話しています。どうやら、だれがおひなさまになるかという話のようです…。五人囃子を決めるあみだくじものっています。大人気の「ようかいむら」シリーズ!

## 【紙芝居】 じしんのときのおやくそく／よこた だいすけ



しまじろうは、おかあさんと地震の時は「あおにんじゃ」が大切と教わりました。それからしばらくしたある日、ちゃれんじえんで地震が起きました。しまじろうは、「あおにんじゃ」の約束を守れたでしょうか…。